

授業構成図

本時のねらい
おいしい野菜入りホットケーキを自分の力で作ることができ
る。
(課題対応能力★)

目指す子どもの姿
Sおいしい野菜入りホットケーキを進んで自分の力で作ることができている。
Aおいしい野菜入りホットケーキを自分の力で作ることができている。

振り返り場面
Aだと判断した子どもの姿
進んで作ることができていない。

深い学びの視点

- ① 既有知識を関連付けて考え、一階層上の知識を得る。
- ② 獲得した知識を汎用的に活用する。
- ③ 学習の目的を、より高い目的に価値づける。

見通しや実行方法を発想する
場面

④野菜入りホットケーキをおいしくするための方法を考え、調理する。★

T どうすればおいしいホットケーキを作ることができるでしょうか。

野菜

- C 小さくします。
- C 折り下ろします。
- C もっと沢山入れます。
- C 他の野菜も入れます。
- C 花や星、ハートの形にします。
- C ホットケーキの生地
- C 薄くします。
- C 厚くします。

◆前時の振り返りにおいての児童の呟きなど、野菜入りホットケーキをおいしくするための具体的な方法を複数提示しておき、その中から児童が選択できるようにしておく。また、すぐに使えるよう、野菜を切ったものも準備しておく。

⑤作ったホットケーキをみんなで食べる。

T おうちの人にホットケーキを食べていただく時に、どのように言うといいでしょうか。

C 野菜が入ったホットケーキを作りました。どうぞ食べてください。

留保護者の方には、食べた感想を児童に伝えていただき、児童の達成感や自己肯定感を高める。

⑥学習の振り返りをする。

対象と既有の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

課題を見出す場面

①前時の試作と試食から気付いたことを想起する。

T 前の時間に、野菜入りホットケーキを作って食べましたね。気が付いたことを思い出してみよう。

- C 野菜が大きかったです。
- C 野菜が多かったです。
- C 野菜が少なかったです。
- C 他の野菜にした方がよかったです。
- C ホットケーキが厚かったです。
- C なかなか焼けませんでした。
- C 少し焦げました。
- C ホットケーキが薄かったです。

◆前時の振り返りを児童が想起しやすいよう、児童の発言をまとめたものを掲示しておく。

②課題を設定する。

おいしい野菜入りホットケーキを自分の力で作ろう。

T 今日は、みんなであうんとおいしい野菜入りホットケーキを作りました。そして、おうちの人にも食べていただきましょう。

③ルーブリックの設定をする。

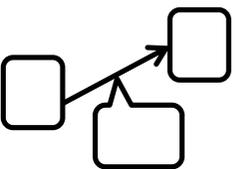
T この時間のAとSを決めましょう。

◆子どもたちと対話しながらルーブリックを設定する。Sの設定が難しい時には、指導者が提示する。

C おいしいホットケーキを自分の力で作れたらAだと思いませんか。
C 自分からどんどん作っていいからSだと思います。

対象と既有の知識との「ズレ」を認識

思考スキル「つなげる」
↓
思考ツール「コンセプトマップ」



おいしい
野菜入りホットケーキ



おいしくするために

- 【野菜】
 - ・小さくする。
 - ・摺り下ろす。
 - ・ミキサーにかける。
 - ・増やす。
 - （沢山に）
 - （他の野菜も）
 - ・飾り付けをする。
 - （花・星・ハートの形）
 - 【ホットケーキの生地】
 - ・薄くする。
 - ・厚くする。
- ↓
きれいに焼ける厚さを
見つける。

- 【野菜】
 - ・大きすぎた。
 - ・少なかった。
- 【ホットケーキの生地】
 - ・厚かった。なかなか焼けなかった。
 - ・薄かった。少し焦げた。